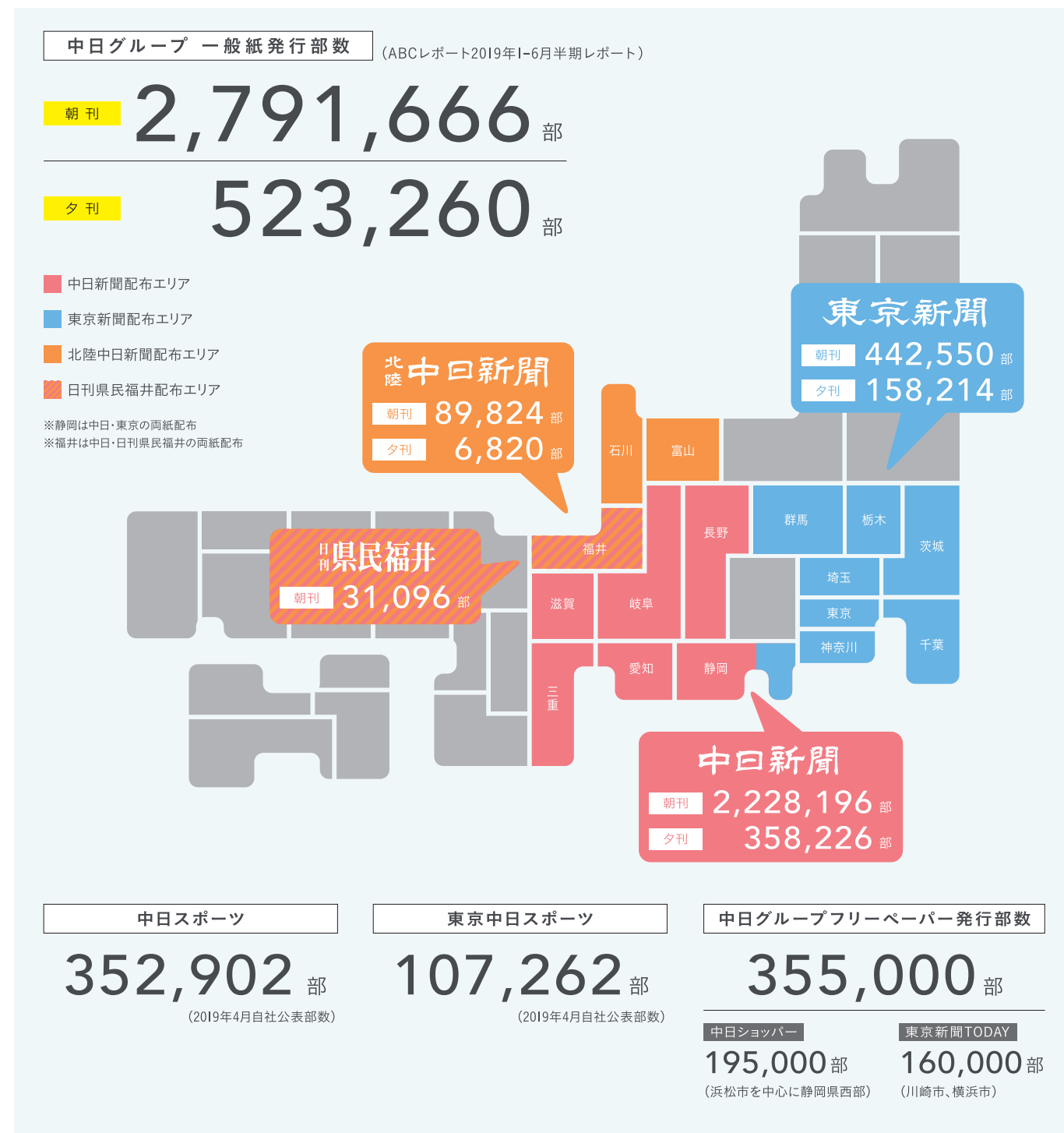




中日新聞社広告局		
名古屋本社	〒460-8511 名古屋市中区三の丸 1-6-1	TEL.052(221)0686
岐阜支社	〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通 1-12	TEL.058(266)4791
東京本社	〒100-8505 東京都千代田区幸町2-1-4	TEL.03(6910)2483
北陸本社	〒920-8573 金沢市駅西本町 2-12-30	TEL.076(233)4640
東海本社	〒435-8555 浜松市東区薬新町45	TEL.053(421)9118

大阪支社	〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-43	TEL.06(6346)1115
福井支社	〒910-0005 福井市大手 3-1-8	TEL.0776(28)8606
中日ショッパー	〒435-8557 浜松市東区薬新町45 中日新聞東海本社内	TEL.053(421)9115
東京新聞TODAY	〒210-0006 川崎市川崎区砂子1-1-14 JTB川崎共同ビル5F	TEL.044(245)5881

中日新聞
東京新聞

北陸中日新聞
日刊県民福井
中日スポーツ
東京中日スポーツ
中日こどもウィークリー
中日ショッパー
東京新聞TODAY

名城大学

開学一〇〇年へ向け
新聞広告が繋ぐ在学生、
卒業生と大学との絆

INTERVIEW
Ikuya Yano
矢野 幾也 氏
学校法人 名城大学
事務局次長

開学100年へ向け 新聞広告が繋ぐ在学生、 卒業生と大学との絆

Interview

Ikuya Yano

矢野 幾也 氏 × 杉田 幸司

学校法人 名城大学
事務局次長

Kouji Sugita

杉田 幸司

中日新聞 名古屋本社
広告二部 部長

学校法人名城大学に入職後、長く総務関係を
担当。2014年から経営本部総合政策部、渉外
部、社会連携センターで事務部長を兼務。渉外
部で広報を担当する。2026年に迎える開学100
周年の事業室を兼務。



―― 第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会「4連覇」おめでとうございます。しかも大会新記録を樹立しての優勝でした。「支えられ、走れる喜び。」という、テーマを明確に打ち出した広告をいただきました。新型コロナウイルスの影響で活動自粛等の影響を受けられた中で、大変なご苦労があったと思います。

矢野 優勝することが絶対条件。絶対王者で優勝が当たり前のようになっている中で選手たちはプレッシャーだったでしょう。コロナ禍の影響で、クラブとしての練習ができない時期もあった中での大会新記録ということで、今までも立派ですが、更に価値の高い優勝だったと思います。聞いた話では、それぞれが自己管理をして黙々と1人で河川敷を走ったり、選手によっては去年よりも多く距離を走ったりしたようです。ストレスを背負いながら練習し、肉体的にも精神的にも苦しい中での優勝でした。

―― 2019年に「第10回読者が選ぶ中日新聞広告大賞」文化・教養の部の部門賞を受賞されたときもシンプルで力強いという審査員の声がありました。今年は「走れる喜び」ということで、皆さんと共に走っているというメッセージを強く受けました。コロナ禍ということが影響していますか。

矢野 2連覇のゴール、3連覇の胸上げはあくまでも学生が主役です。優勝したときの喜びを純粋に表現しました。今年については大会そのものが応援の自粛もありましたので、今までと同じようなことは難しいかなということで「支えられ、走れる喜び。」というテーマになりました。キャッチコピーの下にある文章

も気持ちが込められていて本当にいいですね。2連覇、3連覇のときも「名古屋に名城あり。」と一緒に「たくさんの応援ありがとうございました!」というフレーズを入れています。実はここにも非常にこだわっています。一見、学生が純粋に喜びを表している広告なのですが、この裏には、大きく咲いた花には大きな根っこがある。支えてくれている人たちが大勢いるという気持ちを込めています。それらの人に対する感謝を「たくさんの応援ありがとうございました!」と表現しました。変哲もない言葉ですけど、いいフレーズだと思いながら毎回使っています。

―― 駅伝だけでなく、入試広報や研究、建物の竣工広告等でも新聞広告をご活用いただいています。特に私が印象に残っているのが、昨年ノーベル賞を受賞された吉野彰先生と池上彰先生の対談紙面です。新聞広告を使うときに期待されていることは何でしょうか。また、広告掲載後の学内外からの反響はいかがですか。

矢野 お2人に授業を持ってもらい学生に指導いただいている名城大学にしかできない広告です。この「先を読め。世界を見よ。」はメッセージ性と発信力がある。反響も大きかったです。あと、これを見た卒業生、在学生、関係者がどう思うかです。この広告を見て名城大学のことを誇りに思っただけだと思います。名城大学は2026年に開学100周年を控えています。全国に20万人以上の卒業生を輩出しており、今以上に卒業生と大学との絆、繋がりを深めていきたいと考えていますが、新聞広告は結びつきのツールの一つだと考えています。

―― 新聞には新聞にしかできない役割があるということ



中日新聞 2019年10月10日 朝刊 5段

しょうか。
矢野 SNSやウェブ広告などコストパフォーマンスを考えた上で広告媒体がさまざまある中、なぜ新聞広告を出すのか。最近の新聞広告は、企業の歴史であったりビジョンであったり、企業の構成員を一体化させる広告が多いと見えています。また、新聞広告というのは広い年齢層に訴えられるツールだと感じます。スマホでニュースを見ていると広告がたくさん出てきます。情報発信ツールとしては良いものなのかもしれませんが、感動や感激があまり伝わってこないのは私だけでしょうか。実は先日車を運転していたら、とある会社の窓にこの広告紙面が貼ってありました。感激しました。卒業生の会社だと思うんで



中日新聞 2018年10月30日 朝刊 15段



中日新聞 2019年10月29日 朝刊 15段



中日新聞 2020年10月25日 朝刊 5段



中日新聞 2020年4月3日 朝刊 15段

すけども。やっぱりその人もこの広告に感動・感激して貼ってくれているのだと思います。そういう力が新聞広告にはあると思っています。広告を出すことで名城大学を誇りに思ってもらえる、卒業生と大学を繋げる一つのツールとして新聞広告を使っていけたらと思います。

―― 名城大学様にはキャンパスが5か所あります。卒業生が20万人いて、毎年約3,500人の方が卒業されています。一体感を引き出す次のジャンルがあるとなると、期待していることはどのようなことですか。

矢野 期待していることはありますが世阿弥の「秘すれば花」です(笑)。ただ名城大学は真面目な大学で、アカデミアとして、奇をてらうよりは、スポーツはスポーツ、研究は研究、教育は教育と地道に真面目に取り組み、その結果が社会にアピールできるようなものに育てばいい。きちんとやった結果で花開くことが理想だと思っています。

―― 本日はありがとうございました。

読者が動く

読者を動かす 中日新聞グループのリソース

中日新聞社は地域に密着した情報発信を通して、読者との間に確かな信頼を築いてきました。その信頼は、中日新聞社が持つ様々な機能やサービスにも強く影響を与えています。いずれも新聞広告にプラスαの大きな効果をもたらす地域最強のコンテンツです。ターゲットや目的に応じて、中日新聞社の多彩なコンテンツをご活用ください。

新聞広告の日特集

10月20日「新聞広告の日」に、中日新聞・東京新聞では、それぞれニューノーマル時代に合わせたアイディアで新聞広告企画を展開し、読者に明るい話題を届けました。

夕刊をメッセージ&各業界の広告でジャック!!

「#できるようになったことをやろう」



中日新聞 2020年10月20日夕刊 1面&終面(10面)

6月に実施した読者アンケートより「できなかったこと」を業界ごとに紹介。それに応える形で各ページにて、企画カットと純広告で「できるようになったこと」を伝えました。



9面

8面

3面

2面

【協賛】クラブツーリズム、栄町商店街振興組合、ナゴヤドーム、東海ラジオ放送、阪急交通社、東宝、キノフィルムズ(順不同)

新聞で笑顔に!!『東京新聞えがおプロジェクト』

マスクで仮装 おうちでハロウィン



東京新聞 2020年10月20日夕刊 1面&終面(10面)



東京新聞 2020年10月31日夕刊 1面&終面(10面)

東京新聞えがおプロジェクト

新聞は、いつも怒っている。新聞は悪い人のニュースや悲しい出来事の話ばかり。そう感じていませんか。東京新聞は、心温まる、朗らかな、誰かに伝えたい楽しい話をお届けしたい。その先に笑顔が見えるように。さまざまなテーマで編集記事や広告企画などの展開をしています。



今秋より
プロジェクト
スタート!!



東京新聞では今秋より、読者に心温まる、朗らかな、誰かに伝えたい楽しい話をお届けする「東京新聞えがおプロジェクト」を展開しています。その一環として、10月20日の「新聞広告の日」に合わせ、「マスクで仮装おうちでハロウィン」広告企画を実施しました。

お化けやピエロの口元をかたどったワッペンを紙面に掲載し、切り取って普段使用しているマスクに貼ってもらうことで、誰でも簡単に仮装できるというもの。そして仮装マスクを着けた写真を募集し、その一部をハロウィン当日の31日付夕刊に掲載しました。また来店者へお菓子を配るイベントを行う新聞販売店に、ワッペンをプリントしたチラシを提供、盛り上げに一役買うこともできました。

昨年までは仮装した子どもたちが集まり近所を練り歩く姿を見かけましたが、今年は新型コロナウイルスの影響でイベントが中止のところも多かったと聞きます。この企画を通じ、読者に笑顔が戻ればうれしく思います。

東京本社 広告一部 松田 泰彦

ハロウィン当日の10月31日
新聞販売店が来場者に
お菓子和企画チラシを配布しました!



2020 MARKET IN

— 東海のナンバーワン & オンリーワン —

愛知県の製造品出荷額は42年連続全国1位

東海エリアの出荷額の全国シェアは25.1%

圧倒的な強さ、愛知県の製造業

東海エリアは全国有数のものづくり圏域として知られるが、統計を見るとそれを裏付ける強さが如実にわかる。今年8月に発表された2018年の工業統計調査(確報)によれば、製造品出荷額で愛知県は全国都道府県別で42年連続1位となっており、揺るぎない製造業県トップを維持している。昭和、平成、令和と3時代を跨いでの首位の独走である。愛知県の製造業出荷額は、約48兆7千億円で、全国の約331兆8千億円の14.7%を占める。2位は神奈川県であるが、約18兆4千億円と愛知県との差は大きく、いかに愛知県の製造業出荷額が突出しているかがわかる。

東海エリアでは、静岡県もものづくり県として知られるが、約17兆5千億円で全国4位につける。また、三重県は約11兆2千億円で全国9位となっており、上位10位までに東海エリアが3県入っている。岐阜県の約5兆9千億円(21位)を加えると、東海エリアの製造業出荷額は、約83兆4千億円となり、これは全国の25.1%と4分の1を超えるシェアを誇る。ここ数年、25%前後で推移しており、全国における位置づけの変化はない。前年と比較した出荷額の伸び率では、三重県が前年比106.7%、岐阜県が104.7%、静岡県が104.5%と全国の104.0%を上回っている。愛知県の前年比は103.7%と全国の伸び率を下回るものの、増加額は約1兆7千億円と全国最多である。

また、製造業の事業所数では、大阪府が15,500カ所で1位、愛知県はそれに次ぐ15,322カ所で2位。従業員数は、愛知県が約86万人で全国の約11%を占めており、2位の大阪府の約45万人を大きくひきはなしての1位となっている。

部門別では輸送用機械器具が大きなシェア

製造品目別で見ると、なんといっても自動車やオートバイ等の輸送用機械器具が圧倒的な全国シェアとなっているのが特徴だ。輸送用機械器具部門では、製造出荷額、事業所数、従業員数のいずれも愛知県が1位、静岡県が2位となっている。特に同部門の製造出荷額は、愛知県が約26兆9千億円と全国の38.4%をも占めており、静岡県の6.4%、三重県の3.6%、岐阜県の1.6%を加えると、東海エリア合計でちょうど半分の50.0%を占めることになる。また、愛知県の製造出荷額に占める輸送用機械器具の割合は半数を超える55.4%となっており、いかに愛知県において重要な産業であるかがわかる。

尚、トヨタ自動車は、コロナ禍において2020年度の上半期の純利益は前年比45%減少したものの2020年度1年間の純利益予想をこれまでの7,300億円から約2倍となる1兆4千億円に上方修正しており、コロナ禍においても堅実な業績を上げる見込みである。

田中 三文

たなか みつふみ

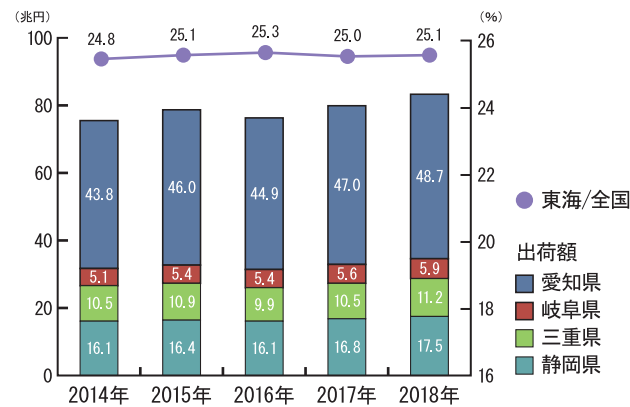
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

政策研究事業本部

上席主任研究員



製造品出荷額の推移



製造品出荷額の推移

年次 県	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2018年	
						全国順位	全国シェア
愛知県	43,831,329	46,048,253	44,909,000	46,968,055	48,722,041	1	14.7%
岐阜県	5,101,178	5,373,371	5,385,390	5,627,149	5,889,711	21	1.8%
三重県	10,542,710	10,898,556	9,895,478	10,503,438	11,207,911	9	3.4%
静岡県	16,050,724	16,372,042	16,132,178	16,787,113	17,539,461	4	5.3%
東海計	75,525,941	78,692,222	76,322,046	79,885,756	83,359,124	-	25.1%
全国計	305,139,989	313,128,563	302,185,204	319,035,840	331,809,377	-	100.0%
東海/全国	24.8%	25.1%	25.3%	25.0%	25.1%	-	-

出典: 工業統計表(地域別統計表)(経済産業省)/経済センサス活動調査(総務省・経済産業省)を基に作成
※従業員4人以上の事業所の出荷額
※2015年は経済センサス活動調査、その他の年次は工業統計調査で、それぞれの年次における1月~12月の1年間の数値
※2015年の製造品出荷額などについては、個人経営調査票による調査分を含まない

探訪記

東海エリア



文・写真/増田 幸弘(編集者)
[三重県 紀北町]



朝市でカツオを振る舞う東明生さん(左)と明子さん。息子の幸輝さんを、親として温かく見守る。

地域貢献の壁

地域に貢献したい。熱い思いを胸に秘め、東京で働いていた東幸輝さんが生まれ故郷の紀伊長島に戻ったのは2012年のことだった。きっかけは前年に起きた東日本大震災。あのとき多くの人が強い衝撃を受け、自分にできることを社会に少しでも役立てたいとの衝動に駆られたが、東さんもそのひとりとして、継ぐつもりがなかった実家の魚屋を手伝いはじめた。

「大学を卒業してIT関連の会社に就職し、SE(システムエンジニア)をしていました。仕事で培った、相手の要望に応じてものごとを構築する能力が、きっと地域の発展に役立つと思ったのです」

マルヒ海産は昭和初期、東さんの祖父がはじめた地元の老舗。最初は紀伊長島の浜であがった魚を干物に加工し、それから魚屋をはじめ、食堂も併設した。時代に応じた工夫をすることで、店は大きくなっていった。だが、いつしか魚が売れにくくなっていた。

「魚を料理するとまな板が臭くなり、干物を焼くと煙が出るので嫌う人が増えました。時代の流れなので仕方ないのですが、東京で身につけた感覚を活かしたアイデアを、製造を担当する父に伝えました」

こうしてできたのが干物ではなく燻製であり、湯煎すればそのままおかずになる煮つけや味噌煮だった。いずれも料理をしなくてすむようになっている。また、「薫(かおる)干物」と名づけたシリーズでは、「ふんわりバジル」「香ばしカレー」「深みの黒胡椒」など、従来の干物とは一線を画す味覚を提案した。

販売にネットを活用し、宣伝にSNSを駆使したが、朝市という古風な場も大切にしたい。紀伊長島の魚市場では20年ほど前から第二土曜日に「港市」という朝市がおこなわれていた。多くの人が集まり、にぎわっていたことから、月に一回ではもったいないとの声が高まり、東さんを中心に、別途、「港朝市」を第四土曜日にはじめたのである。

「地域のことをもっと知ってもらいたいとの一念で、新鮮なカツオの刺身を振る舞ったり、タコの茹で方を実演しました」

東さんが司会進行をしてピンゴやカラオケをしたり、親子連れに釣り竿を貸し出した。ただ、あまりお金はかけられず、一斗缶でコンロを自作し、コンパネをテーブル代わりにした。ほかにも地域のスーパーが撤退すれば、自宅の庭で野菜を売った。それもこれも地元の役に立ちたいとの思いからだ。

しかし、がんばればがんばるほど空回りし、周囲の人たちとの考え方にズレを感じた。ついには6年あまりつづけた朝市から手を引き、野菜の販売もやめてしまう。なにごとにも継続が大切だとたしなめる人もいたが、自分の負担が大きくなるばかりで、つづける意味を見出せなくなっていた。

「能力不足を痛感しました。それで人の顔色をうかがったりせずまずは自分が楽しく生きりゃええやんというスタンスに変えたんです」

コロナ禍も後押しし、国を挙げて推進する地方移住のリアルが、東さんの経験からは透けて見えてくる。人に頼らず、自分の足で立つべきなのを覚えた東さんはいま、旅をしたり、好きなことをして充電中という。あまり周囲の同意を得られるものではないかもしれないとのことだが、どう乗り越えていくか、次なる展開が楽しみだ。



「家庭では魚を焼きにくいので、無料でBBQできるようにしました」とアイデアマンの東幸輝さん。

01 中日新聞朝刊 | 新しい栄と中部エリアの魅力を発信！ 「かわる都市・進化する中部」特集

〈名古屋本社 広告一部 長津 政宏 / 橋本 真実〉

今秋、名古屋・栄地区のシンボル、名古屋テレビ塔が一年半以上にわたる改装工事を終え、新装開業しました。同時オープンした久屋大通公園北エリア「Hisaya-odori Park(ヒサヤオドリパーク)」と合わせ、観光名所として一帯への集客効果を発揮することに期待が高まっています。さらに、11月6日には日本生命栄町ビルに商業施設「BINO(ビーノ)栄」が開業したことに合わせ、改めて読者に栄地区の魅力を伝えるべく、かわりゆく栄の魅力

力や、中部エリア全体の今後のプロジェクトを伝える特集を掲載しました。

栄地区全体の集客力が高まれば、買い回り効果も見込め、ますます魅力的な街に向かい、着実に街には新しい風が吹いています。今後も、栄地区再開発は、百貨店丸栄跡地、中日ビル、久屋大通公園南側など計画されており、魅力を読者に伝える紙面展開を続けていきます。

「かわる都市・進化する中部」特集



中日新聞 2020年11月6日朝刊

【読者の声】 ※一部抜粋

- 名古屋というまちの中心を担う栄が魅力ある空間になることにとても興味深く感じた。(男性29歳以下)
- 自分の住んでいる中部エリアのいろいろ変わっていくところを知ることができて、とても興味深く読みました。自分に身近で一番興味があるのが、やはりジブリパークです。愛・地球博の頃からサツキとメイの家へも行きましたし、ジブリパークができるのを楽しみに待っています。(男性50代)
- 以前名古屋とばしと言う嫌なたとえがありました。これからは、全国から名古屋に皆さんが足を運んでくれる、魅力ある街づくりを

期待しています。(男性60代)

- 自治体と企業が一丸となり中部を盛り上げていこうとする兆しを感じました。テレビ番組の宣伝も大きくわかりやすく、役に立ちました。(女性30代)
- とにかくすごいなと思いました。中部の経済力の強さを感じました。(女性60代)

新聞広告共通調査プラットフォーム
J-MONITOR

02 中日新聞朝刊 | まずは「17の目標」の周知を目的に、毎月紙面で紹介！ みんなではじめるSDGs

〈名古屋本社 広告二部 鈴木 宏英 / 佐野 秀平〉

2030年に向けて、世界の解決すべき課題を17にまとめた全世界の共通目標であるSDGs(持続可能な開発目標)。2015年9月に策定されるも、この中部エリアではまだまだ認知度が低いという結果を見かけました。そこで、2020年度は、まずは“SDGsの周知”を目的に、4月から来年1月まで、子どもたちにもわかりやすい内容で17の目標を紙面で紹介しています。17の

目標の紹介だけでなく、WEBサイトの公開、SDGsキーホルダーの製作、企業・大学の取り組み紹介等、年間通じてSDGsの周知に努めてきました。

このような取り組みを通じて、SDGsを広く知ってもらい、よりよい未来が実現するように、中日新聞としても来年以降も継続していきます。



4月
企画認知度
26.0%



今年4月～
来年1月まで
毎月特集

中日新聞 2020年4月28日朝刊

【読者の声】 ※一部抜粋

- SDGsの事を初めて知った。自分に何ができるか一度調べてみようと思った。(男性60代)
- SDGsって言葉、初めて聞きました。とても勉強になりました。(女性29歳以下)



9月
企画認知度
68.4%

中日新聞 2020年9月29日朝刊

【読者の声】 ※一部抜粋

- いつも為になる内容で面白い。(男性30代)
- シリーズもので毎回興味深く読んでおります。視野を広げて考えてみるよい機会だと思います。(女性30代)
- 以前にSDGsの広告をみたことがあります。毎回、掲げる目標があり好感がもてます。今の世の中の混乱の社会課題に取り組みは素晴らしいです。(女性60代)

新聞広告共通調査プラットフォーム
J-MONITOR



中日新聞みんなではじめるSDGs
WEBページ



<https://chunichi-sdgs.jp/>



中日新聞 2020年10月31日朝刊



みんなではじめるSDGsキーホルダー

高木守道追悼試合ラッピング企画

〈 名古屋本社 スポーツ部 竹尾 光貴 〉

ミスタードラゴンズ・高木守道さんを偲ぶ追悼試合が10月10日の巨人戦で開催されるのに合わせて中日スポーツで特集を実施しました。

当初はオープン戦で実施する予定だった追悼試合が新型コロナウイルスの影響で無観客試合になったため延期に。ドラゴンズで2度も監督を務め、現役当時は華麗なバックツで鳴らした高木さんの偉業を称えるべく本企画を立ちあげました。せっかくなら一番目立つように！というわけで故星野仙一さんの追悼紙面を参考に、通常の中日スポーツに4

ページ分包み込む、通称ラッピング形式で掲載しました。

当日は台風の接近で試合開催が危ぶまれたため直前まで中止の場合のシミュレーションも考えていましたが、最終的にはファンの思いが雨雲を吹き飛ばし無事試合は開催され紙面も滞りなく掲載されました。

追悼試合では巨人に大敗しましたが、高木さんの喝が入ったのかその後チームは7連勝。見事8年ぶりのAクラスを勝ち取りました。中日スポーツでは強くなったドラゴンズをどんどん盛り上げるべく今後も様々な企画を立案していきます。

ラッピング4ページ特集



中日スポーツ 2020年10月10日

地元岐阜で
追悼イベントを
開催



故高木守道氏追悼パネル展

岐阜県出身の名選手・高木守道さんの生きた証を伝え残すべく、モレラ岐阜では、「故高木守道氏追悼パネル展」を実施。報道写真のみならず、ご家族から提供いただいた高木さんのスパイクや、追悼試合で根尾選手が実際に着用したユニホームの展示も行いました。

また、長年岐阜支社事業課が実施している「高木守道記念岐阜信用金庫中日ドラゴンズ少年野球教室」の特集紙面も掲載。これからも地元ゆかりのあるトピックスを、地域に根付いた新聞社として多角的に発信していきます。

岐阜支社 広告部 安藤 賢一 / 村上 佳穂



中日新聞(岐阜版) 2020年11月20日朝刊

追悼
名刺広告



中日新聞 2020年10月10日朝刊

「三重とこわか国体・三重とこわか大会」開幕1年前特集

〈 名古屋本社 広告三部 三重アドセンター 鈴木 浩一 〉

2021年9月25日に開幕予定の「三重とこわか国体・三重とこわか大会」。三重県では46年ぶりに開催される国体を盛り上げるべく、地元三重版で「開幕1年前特集」を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で、今秋予定されていた鹿児島国体は異例の延期が決まり、一時は三重県での開催も危ぶまれました。今後もコロナと向き合うことが避けられない中、アフターコロナやウィズコロナの「新しい国体のかたち」を示すことを目

標として、当初の会期で開催の準備を進めていくことが決定しました。

特集では鈴木英敬三重県知事のインタビューを掲載したほか、国体・大会で注目されるチーム・選手を取り上げ、開催に向けた意気込みを語っていただきました。

「オール三重」で取り組む国体・大会をより一層盛り上げるため、今後も関連特集を実施していく予定です。

地元の三重版で「開幕1年前特集」を実施



中日新聞(三重版) 2020年9月25日朝刊 30段 裏表2ページ特集



第76回国民体育大会「三重とこわか国体」 第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」

開催時期

2021年9月25日～10月5日(とこわか国体)
2021年10月23日～10月25日(とこわか大会)

実施競技

全75競技(とこわか国体)
全14競技(とこわか大会)

46年ぶりに
三重県で
開催!

05 東京新聞朝刊 | 来年の神保町ブックフェスティバル開催を祈願!

江戸・東京の本特集

〈東京本社 出版・エンタテインメント広告部 内藤 傳十郎〉

本の街「東京・神保町」で開催され、2日間で約13万人が訪れるイベント「神保町ブックフェスティバル」。実行委員会メンバーである東京新聞は、読者向けイベントの主催、紙面特集などを実施してきました。本年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となりましたが、来年の開催を祈願し、紙面特集を実施しました。

テーマは「江戸・東京本」。江戸・東京の歴史や地理、文化など関連本を集めた東京新聞ならではの企画です。神保町ブックフェスティバル実行委員長で、東京堂書店会長の大橋信夫氏からのメッセージを盛り込み、神保町の歴史を交えながら、来年以降開催の際に、多くの方の来場を願う想いを紙面で届けまし

た。また、初の試みとしてご協賛社の本を読者プレゼントに。WEBサイト「中日ブックナビ」で企画ページを特設し、中日プラス、東京WEB、ハガキからの応募総数は約2,500件に。大きな反響がありました。さらに、「三省堂書店神保町本店」「東京堂書店神田神保町店」「八重洲ブックセンター」各書店の協力のもとブックフェアも開催し、紙面との連動も実現。コロナ対策を講じながら営業を続けている書店の皆様を応援するという目標も達成できました。来年、「神保町ブックフェスティバル」が無事に開催され、本の街神保町に読書を愛する皆さんとまたお会いできることを願って！東京新聞は全力で応援します。

2020年10月29日東京新聞
江戸・東京の本特集



東京新聞 2020年10月29日朝刊

プレゼント応募総数
約2,500件



「江戸・東京本」
特設コーナー
各協力書店で
ブックフェアを
開催しました

新聞づくりの
オンライン
結婚式

北陸中日新聞2020年11月1日朝刊 別刷り20ページ

横幅1,600mmの「でらワイド」



北陸60年 年表

9～12ページ年表

※横幅は新聞4ページ分!! 縦幅は新聞と同じ大きさです



【読者の声】 ※プレゼント応募者コメントより一部抜粋

- 東京新聞の紙面で家族の会話が広がっています。いつも有難うございます。神保町は大好きな町です。昔からの書店や古本屋がなくなる厳しい状況が続く昨今、コロナ禍の影響もまた心配です。行ける時は足を運びたいと思います。(50代男性)
- 秋の楽しみの一つ、「神保町ブックフェスティバル」が無いのは、とても寂しいです。でも31日には本の街へ出掛け、あちこちの本屋さんを訪ねました。いつもと違うけど、エネルギーを感じました。店主の方々に頑張れ!とエールを送りたいです。(50代女性)
- 江戸東京の紙面はたくさんの本が紹介されていて、とても良かったです。読書が趣味なので、ひとつのテーマに沿った紙面のなかで紹介されている本を一冊ずつ読みたいと思いました。こうした記事があることは、ネット全盛時代にとても貴重だと思います。(50代女性)

センタ
4ペー
特集



北陸中日新聞 2020年11月1日朝刊 センター4ページ特集

02 中日新聞+中日スポーツのW題字特集別刷りを配付

ラリージャパン2021開催に向けたイベント「GO TO ラリージャパン2021」

東京本社 スポーツ部 大倉 甲人

FIA世界ラリー選手権(WRC)は一般道を市販車ベースの車でタイムを競うレース。今年、日本では12年ぶりに愛知県・岐阜県で開催される予定でしたが、コロナ禍で中止。しかし来年のスケジュールが発表され「ラリージャパン2021」として11月11日～14日、同地で行われることが正式決定しました。

また、今年11月21日、22日に同レースを盛り上げるプロモーションイベント「GO TO ラリージャパン2021」が名古屋市長のミツコシマエヒロバスで開催されました。ラリートークショーの他、車両展示やラリージャパン開催予定地の自治体PRブース、WRCに関連

する各国の料理が楽しめる飲食ブースなどの出展があり、多くのモータースポーツファンで賑わいました。

メディアパートナーの中日新聞社(中日新聞・中日スポーツ・東京中日スポーツ)はこのイベントで新聞社らしいコンテンツを提供することとなり、熟慮の末、やはり「WRCに特化した特集紙面の配布」に決定しました。シリーズ復帰4期目で今年選手部門ではワンツーのトヨタガズレーシングを中心とした紙面を制作。別刷り紙面を受けとってラリージャパンを初めて知ったという方も多くいました。今後もスポーツ紙を中心にWRCを紹介していく予定です。

中日新聞・中日スポーツ別刷り3,000部配布



中日新聞・中日スポーツ 2020年11月20日 別刷り(中日スポーツ・東京中日スポーツ2020年11月20日朝刊併載)



久屋大通公園内のミツコシマエヒロバスで開催された「GO TO ラリージャパン2021」イベントの様子

イベント概要

日時
2020年11月21日(土)、22日(日)

会場
ミツコシマエヒロバス(名古屋市長)

主催
ラリージャパン事務局

ブース出展
(車両展示エリア/自治体PRブース/メディアパートナーブース/ライフガードブース/ステージエリア/e-sportsブース/ラリージャパンブース/飲食ブース)

GO TO
Rally Japan
2021

ナゴヤ文化研究所

ナゴヤ人ならではのふるふるなど、ローカルな魅力溢れる名古屋の情報をお届けします。

ナゴ研
第6回

名駅、栄エリアの新たな役割とその背景

今、栄が盛り上がっています。名古屋テレビ塔を含む久屋大通公園の中心部分から外堀通りに至る北部エリアの再整備が行われ、9月18日に「Hisaya-odori Park」並びに商業施設「RAYARD Hisaya-odori Park」がオープン。私も9月末に足を運びましたが、たくさんの人出でにぎわっていました。栄エリアがこんなに盛り上がっているのを見るのは久しぶりの気分です。

名古屋の繁華街は大きく名駅エリアと栄エリアに分かれるのはご存知のとおり。食事や買い物に行くときは、どちらかのエリアを訪れることが多いと思います。

名駅エリアの中心はもちろん名古屋駅です。もともとは湿地帯でしたが、1886年(明治19年)、今のナナちゃん人形のあたりに国鉄名古屋駅(当時の表記は名護屋駅)が開業。1937年(昭和12年)には現在地に移り、「東洋一」と謳われた駅舎が完成します。戦後には名鉄百貨店、近鉄百貨店、松坂屋が相次いで出店し、1957年(昭和32年)に地下鉄東山線が開業すると商業エリア、ビジネスエリアとしてさらに発展しました。

昭和30年代の名古屋駅前はあまりに混雑していたため交通事故の頻発を招き、地下街が作られるきっかけになったといえます。

駅西エリアには戦後、闇市やバラックが立ち並んでいましたが、東海道新幹線が開業するとともに区画整理が進み、名駅エリアとして発展しました。高層ビルが立ち並び現在の名駅の姿は圧巻です。

一方の栄は、江戸時代初期、徳川家康による「清洲越し」をきっかけに発展した場所。碁盤の目のような直線道路もこのときに整備され、現在も活かされています。1898年(明治31年)、広小路通に名古屋初の路面電車が開通すると急激に繁華街になり、1910年(明治43年)には市内初の百貨店・いとう呉服店(松坂屋の前身)が開業。1916年(大正5年)には名古屋初の高層建築である北浜銀行名古屋支店が完成し、最上階のレストラン「八層閣」は大いに賑わったそうです。

同時期に十一屋(丸栄の前身)が開業、戦後にはオリエンタル中村(後に三越と合併・改称)も開業し、「4M」(名鉄百貨店も含めた4つのデパートの頭文字)のうち3つが集まる商業エリアとして発展を遂げました。100メートル道路の建設とあわせて久屋大通公園も整備され、栄エリアは名古屋の人がゆった

りと買い物を楽しむ街になったのです(近くには「夜の街」もたくさんあります)。

名駅エリアと栄エリア、両者は拮抗していましたが、大きな転機となったのは2000年のJRセントラルタワーズ全面開業でした。名古屋研究家の川合登志和さんは特にタカシマヤの存在が大きかったと指摘します。「他地方に本社を置くタカシマヤが名古屋の人たちに受け入れられ、名古屋の企業でなくてもいいものはいいいという認識が広がりました。その後、名古屋のご当地企業の勢力が弱まっていくきっかけになったとも言えるでしょう」。タカシマヤが売上を伸ばす一方、4Mは苦戦を強いられます。2018年には栄の丸栄が完全閉店、翌年には中日ビルは建て替えのため閉館しました。シンボリックな存在の名古屋テレビ塔も解体の議論が起こります。名駅エリアの発展に比べ、栄エリアは寂しくなった印象が免れませんでした。

しかし、そこへ出来たのが、「Hisaya-odori Park」です。三井不動産が主導して整備した美しい公園によって、栄エリアが久々に活気を取り戻しました。私が訪れたときは、家族連れがとて多かった印象があります。

かたや高層ビルが立ち並んでショッピングとビジネスを担う街、かたや名古屋の人たちが訪れてゆったりと憩う街。名駅エリアと栄エリア、2つの街の役割が、2020年になってより明確に分かれたと言えるでしょう。



名古屋テレビ塔と久屋大通公園

参考文献
『名古屋今昔散歩』原島広至(中経出版)、『愛知「地理・地名・地図」の謎』大塚英二(実業・日本社)など

フリーライター
大山 くまお

著書に『中日ドラゴンズあるある』や名古屋文化研究家の川合登志和氏との共著『名古屋あるある』などがあり、昨年、共著『ドラドリル』シリーズを発売し子供のドラゴンズファン増加にも寄与している。孫の顔を親に見せるためと中日ドラゴンズの試合観戦のために名古屋に帰ることの多い(主に後者の理由)名古屋出身、東京在住のフリーライター。

ドラドリルを手に持つ大山氏

中日新聞・東京新聞 新聞広告受付締切スケジュール

広告原稿の刷寸入稿サイズにつきましてはホームページ内の「中日新聞グループ・PDF/eps広告入稿ガイド」をご確認ください。

締切	2月分	3月分	4月分
第1次 前々月 20日	12/18(金)	1/20(水)	2/19(金)
第2次 前月 10日	1/8(金)	2/10(水)	3/10(水)
第3次 前月 20日	1/20(水)	2/19(金)	3/19(金)
特定面 前月 5日	1/5(火)	2/5(金)	3/5(金)

※当該日が土日祝の場合は繰り上げた営業日となります。